



鶴ヶ島市立長久保小学校 学校だより

第 4 号

令和7年 7月 1日

文責 校長 伏見 隆一

鶴ヶ島市脚折町 4-12-1

Tel 049-286-2160

はばたき



梅雨入りしました。すぐに梅雨の中休みになり、異常な暑さで熱中症を心配する日が続きました。先週からは、うっとうしい梅雨空に戻りましたが、湿度が高く熱中症の心配は、続いています。そのような中でも、子どもたちは、元気に頑張っています。

先週土曜日の学校公開日には、保護者の皆様においでいただき、ありがとうございました。今後も、機会ある毎に学校に来ていただき、お子さんの様子や本校の教育活動をご覧ください。



親冥利に尽きる 子どもを思う親心

わが子が生まれたときの感動、そして、赤ちゃんの頃「笑った。」「泣いた。」「ハイハイした。」「立った。」「歩いた。」・・・、どんなことでも嬉しくて、わが子の成長を喜んだのではないのでしょうか。

小学生になった今でも、「ひらがなが書けるようになった。」「英語がしゃべれるようになった。」「分数の割り算ができるようになった。」・・・、子どもたちは、毎日毎日、着実に成長しており、目を見張るものがあります。子どもの成長は、嬉しいものです。そんなわが子を見ていると、まさに親冥利に尽きるのではないのでしょうか。

しかしながら、わが子の行動を見ていると、『こんなことをするのは、うちの子だけではないのか。』『自分は、親としてちゃんとできているのか。』誰もが、そんな心配や不安を抱えているのだと思います。それは、わが子が、自分の思い通りにならないからではないのでしょうか。人は、自分のこともよくわからないときがあります。ましてや他人のことは、よくわかりません。わが子といえども同じです。少し余裕を持って、わが子の成長を喜び、見守っていききたいものです。

『少しでも子どもに幸せになってもらいたい。』

『少しでも子どもの悩みを除いてやりたい。』

『子どもの幸せを自分の幸せのように共に喜びたい。』

『自分のわがままを捨て気持ちよく子どものためにつくしたい。』

家庭では、わが子を思う“親心”をずっと持ち続けながら、家庭・地域・学校でこれからの未来をつくる子どもたちを健全に育成していきましょう。



ふれあい祭り



先日のふれあい祭りは、代表委員会、大リーダー、副リーダー、各班のリーダーを中心に、今年の合言葉『あふれるスマイル 世界一最高な ふれあい祭り』の通りに全校の子どもたちが活躍し、とても素敵なお祭りでした。子どもたちの生き生きと輝いている姿、6年生のリーダーぶりにとても感動しました。伝統の6年生『長小雨ごい太鼓』は、今年も見事でした。



長久保小のすばらしき伝統(たてわり活動)

思いやりの心

敬う心

かつては、近所の子どもたちが集まって、異年齢集団で遊んでいました。その遊びを通して、年長者を、尊敬したり、年少者に優しくしたり等、体験の中で学ぶ機会も多かったのですが、今は、そのような機会も減ってきています。

本校では、異年齢集団による活動の良さを子どもたちに体験させるために、全ての学年を12の班に編成し、ふれあいタイム、ふれあい祭りなど『たてわり活動』を行っています。6年生を中心に自分たちで計画を立て、実行しています。思いやりの心、感謝の心が育つ素敵な活動です。子どもたちみんなが、やさしくなります。

上級生は、下級生にやさしくしたり、世話をしたりすることによって、思いやりの心が育っています。下級生は、上級生を頼りにしたり、言うことに耳を傾けたりすることによって、敬う心が育っています。

休み時間になると、1年生が、6年生のお兄さん・お姉さんと一緒に遊んでいるほえましい姿も多くみられます。長久保小の子どもたちは、1年生から6年生まで、いろいろな学年の人たちと仲良くできます。まさに、本校の素晴らしき伝統(たてわり活動)による成果です。

本校では、清掃もたてわり班で行っています。1年生も6年生をお手本に、しっかり掃除ができています。



除草作業ボランティア

多くの方に応募していただきました。猛暑の中、週2回、除草をしていただいています。ありがとうございます。子どもたちは、よい環境の中で生活できます。とても感謝しています。

令和7年度第2回 長久保小学校 学校運営協議会
日時：9月25日(木) 13時30分～2階研修室
学校運営協議会は、法に基づき設置されています。
会議は、原則公開が定められており、傍聴を希望する方は、手続きに従って傍聴することができます。
詳細につきましては、学校へ直接お問い合わせください。